

し	復	わ	し		の	
ま	習	ら	は	中	方	わ
し	し	ず	初	学	法	た
た	学	困	め	校	は	し
。	習	り	て	に	、	が
	を	ま	の	は	復	み
	積	し	テ	、	習	な
	み	た	ス	定	で	さ
	あ	。	ト	期	す	ん
	げ	そ	の	テ	。	に
	る	の	時	ス		お
	こ	時	に	ト		す
	と	に	、	が		す
	が	毎	範 ^{はん}	あ		め
	大	日	困 ^い	り		す
	切	コ	の	ま		る
	だ	ツ	勉	す		家
	と	コ	強	。		庭
	実	ツ	が	わ		学
	感	と	終	た		習

教材6(2)の解答例2

い	あ	り	り		の	
く	り	の	授	な	方	わ
と	ま	頃 ^{ころ}	業	ぜ	法	た
、	し	は	の	な	は	し
集	た	、	進	ら	、	が
中	。	授	度	ば	予	み
し	し	業	も	、	習	な
て	か	に	速	中	で	さ
臨	し	つ	い	学	す	ん
め	、	い	か	で	。	に
る	教	て	ら	は	予	お
よ	科	い	で	教	習	す
う	書	け	す	科	は	す
に	を	な	。	ご	効	め
な	読	く	入	と	果	す
り	み	な	学	先	的	る
ま	予	る	し	生	で	家
し	習	こ	た	が	す	庭
た	し	と	ば	か	。	学
。	て	も	か	わ		習

教材6(2)の解答例1

体験をいれることがポイントです。
 困ったこと、うまくいったことなどを
 思い出してみましよう。



教材6-(2) 《つぎ》 文章にまとめて書く力をつけるには

ポイントをおさえて書くことを習慣にすると、自分の考えをまとめて文章に書く力が付いてきて、書くことが苦手ではなくなります。「ここでは、教材5を例に、書いてまとめるコツを見つけてみましょう。」

《ポイント》

1 課題を正確に理解する

何について書くの？

設問を読んでみましょう。

書く課題は二つあります。

- ・ 「家庭学習では、予習と復習どちらが効果的か」
- ・ 「そのように考える理由」

2 課題に的確にこたえる

課題にこたえる基となる自分の立場を決める

家庭学習を効果的にするに、私は「予習」派？「復習」派？

実際の自分の考え方で立場を決める。

立場を決めた基となる自分の考えを明確にする

なぜそう考えるの？

「予習」派… 教科ごとに先生がかわり、進度もそれぞれがう。内容を先取りしておく集中できる。

「復習」派… 中学校には定期テストがあり、範囲も広い。コツコツと復習して理解を深めておかないと、テスト前

にあわてることになる。
他にはないかな？

3 条件を満たして書く

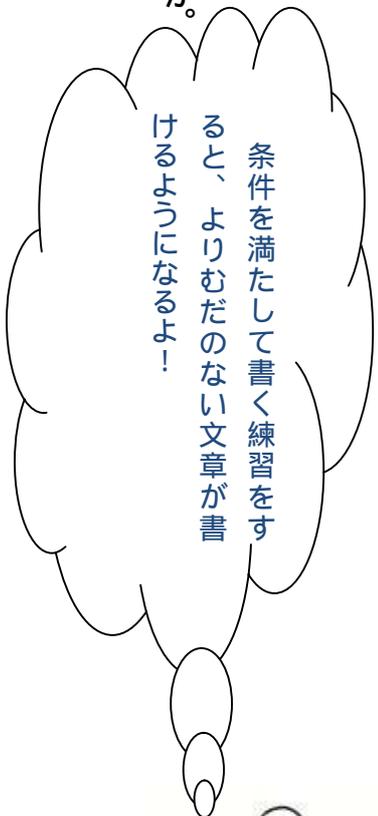
条件を確認しよう

条件 … 制限字数

条件 … 第一段落の内容指定、「予習」「復習」のどちらか。

条件 … 第二段落の内容指定

各段落の、指定された内容の書き方に注意！



4 文章の組み立てを考える

何をどういう順番で書いたらいいのかな？

条件を満たせば、「立場」「そう考える理由(自分の考え)」の順で書くしかない。

「自分の考え」を**箇条書き**^{かじょうが}で表して、かんたんに組み立ててみる

予習、教科担任制、授業進度の違い、先取り、気持ちのゆとり

復習、定期テスト、範囲の広さ、こまめに復習、テスト直前にあわてないように

5 文章としてととのえる

条件の字数に合うように、**4**で書き出した**箇条書き**に肉付けしてつなぎ合わせる。